

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社	
型番: 400-BTMSP1	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
保証期間 6ヶ月		お買い上げ年月日 年 月 日	

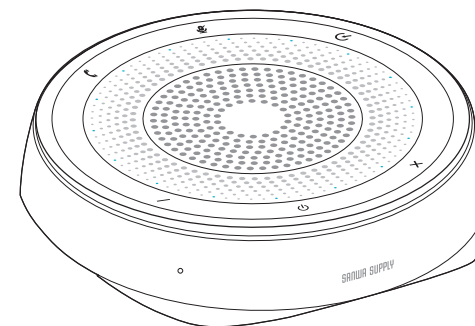
本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社 ver.1.0
サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381
CA/BA/HADA No



Bluetooth 会議スピーカーフォン 取扱説明書

400-BTMSP1



本取扱説明書の内容、デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

目次

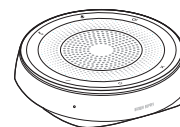
03	1.はじめに	15	11.パソコンの設定
	2.セット内容		・Windows 10・8.1・8の場合
04	3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)	16	・Windows 7の場合
06	4.特長	17	・Mac OSの場合
	5.対応機種	18	12.操作方法
07	6.仕様		・基本操作
08	7.各部の名称とはたらき	19	・通話操作
10	8.充電方法	20	13.各種操作方法・LED点灯一覧
11	9.電源のON・OFF	21	14.【例】Skypeの設定(Windows)
	10.接続方法	22	15.トラブルシューティング
	・Bluetoothモードで接続をする場合	24	保証規定
13	・USBモードで接続をする場合		
14	・AUXモードで接続をする場合		

1 はじめに

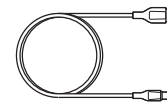
この度は、Bluetooth会議スピーカーフォン「**400-BTMSP1**」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

2 セット内容

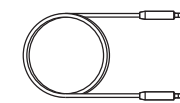
お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



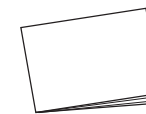
①スピーカーフォン
・・・1台



②USBケーブル
・・・1本



③オーディオケーブル(4極)
・・・1本



④取扱説明書・保証書(本書)
・・・1部

※欠品や破損があった場合は、**品番**(400-BTMSP1)と**上記の番号**(①～④)と**名称**(USBケーブルなど)をお知らせください。

3 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容

＜内部を開けないでください＞

●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

＜内部に異物を入れないでください＞

●内部に燃えやすいものや、金属片などが入った場合、水などの液体がかかった場合は、接続しているケーブルを抜き、お買い上げいただいた販売店又は弊社にご相談ください。そのままでご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

＜接続ケーブルを傷つけないでください＞

●ケーブルを傷つけたままご使用になりますと火災・感電の原因となります。

＜本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください＞

＜ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください＞

＜小さいお子様には使用させないでください＞

⚠ 注意 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

●ケーブルやプラグに無理な力を加えないでください。破損や断線の恐れがあります。

●はじめから音量を上げすぎないでください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。

●ご使用になるときは、音量を大きくしすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間連続して聞くと聴力を損なう恐れがあります。

●使用中に本製品を移動させないでください。

●本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

●本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

●本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。

●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。

●飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。

●使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。

■ Bluetoothについて

●本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されてないことを確認してください。

●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発信を停止してください。

■ 良好な通信を行うために

●他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能になる場合があります。

●Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声途切れることがあります。

●Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。

●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

4 特長

- Bluetooth・USB・オーディオジャック接続と3種類の接続ができるBluetooth会議スピーカーフォンです。
- 4つのマイク搭載で360°全方向の声を拾うことができ、高品質な音声通話が行えます。
- Bluetoothでスマートフォンやタブレットにも接続可能で、WEB会議などにも使用できます。
- 小型なので持ち運びにも便利で、省スペースに設置できます。
- SkypeやZoomなどの音声通話でも使用可能です。

5 対応機種

■ Bluetooth接続時

- Bluetooth対応のスマートフォン・携帯電話・パソコン
※HSP・HFP(ハンズフリー通話機能)に対応していること。 ※音楽再生の場合は、A2DP(音楽再生)に対応していること。
※パソコンがBluetoothに対応していない場合はBluetoothUSBアダプタをお使いください。
※Bluetooth Ver.5.0・4.2・4.1・4.0・3.0・2.1・2.0・1.2対応機器との接続も可能です。 ※Class1の機器との接続も可能です。

■ USB接続時

- 対応機種/Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ
※標準でUSBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。
- 対応OS/Windows 10・8.1・8・7、macOS 10.12～10.15、Mac OS X 10.6～10.11

■ AUX(4極)接続時

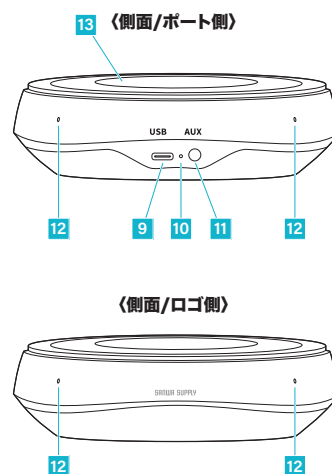
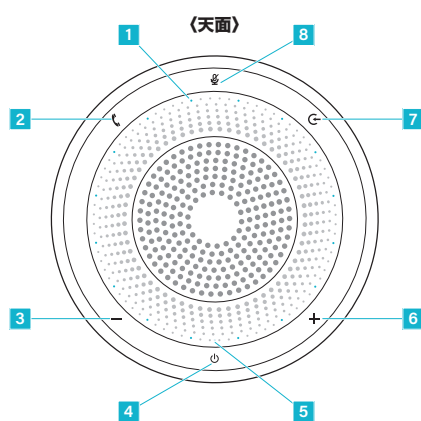
- 4極ステレオミニジャックを搭載した音響機器、パソコンなど

6 仕様

適 合 規 格	Bluetooth5.0(Class2)
周 波 数 範 囲	2.402～2.480GHz
通 信 距 離	約10m(理論値)
伝 送 方 式	GFSK
対 応 コーデック	SBC
対応プロファイル	A2DP・AVRCP・HSP・HFP
電 源	内蔵型リチウムポリマーバッテリー
充 電 時 間	約2.5時間
連 続 再 生 時 間	最大約12時間
連 続 通 話 時 間	最大約8時間
連 続 待 受 時 間	最大約120時間
マルチポイント	対応
マイク感度	-26dBFS
マイク指向性	全指向性
マイク周波数	100～8000Hz
マイク集音範囲	約5m/360°
サイズ・重量	約W130×D130×H41mm・約285g

7 各部の名称とはたらき

①スピーカーフォン



名 称	機 能
1 LED	電池残量など、機器の状態に合わせて点灯します。
2 受話器ボタン	着信に出たり、通話を切ったりできます。
3 音量ダウンボタン	音量を下げます。
4 電源ボタン	電源のON・OFFを行います。
5 電源LED	接続モードなど、機器の状態に合わせて点灯します。
6 音量アップボタン	音量を上げます。
7 入力切替・ペアリングボタン	1回タッチでモードを切替えます。長押しでペアリングモードになります。
8 ミュートボタン	マイクを一時的に停止し、こちら側の音声を相手に聞こえなくします。
9 USB Type-Cポート	スピーカーフォンを充電する際やUSB接続に付属のUSBケーブルを接続します。
10 リセットボタン	製品を初期化します。ピンなどの細い突起物で押ししてください。電源がOFFになります。
11 AUX(4極)ポート	AUX接続する際に付属のオーディオケーブル(4極)を接続します。
12 マイク	音声を入力します。
13 スピーカー	音声を出力します。

※ボタンはタッチ操作です。

8 充電方法



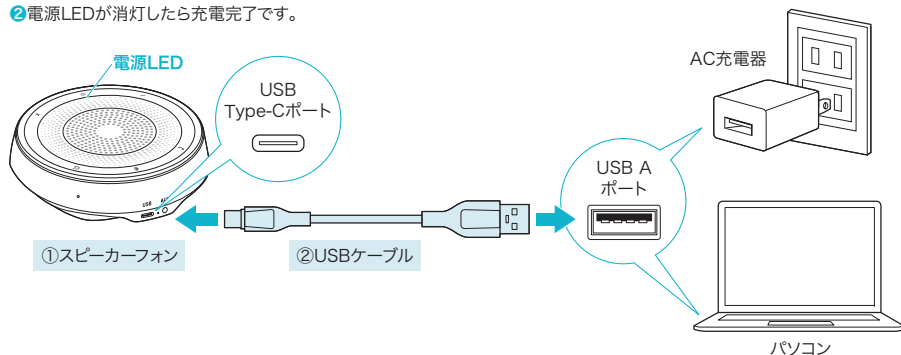
- はじめてご使用になるときは、スピーカーフォンの電源LEDがオレンジ色にゆっくり点滅から消灯するまで充電してください。
- 電源OFFの状態で充電の状態にした時のみ電源LEDのオレンジ色点滅を確認できます。
- 必ず付属のUSBケーブルで充電してください。

①電源OFFの状態で、付属のUSBケーブルでスピーカーフォンとパソコンやAC充電器に接続してください。

充電中は電源LEDがオレンジ色にゆっくり点滅します。

※電源OFFの状態で充電の状態にした時のみ電源LEDのオレンジ色点滅を確認できます。

②電源LEDが消灯したら充電完了です。



9 電源のON・OFF

■ 電源をONにする

電源がOFFの状態で電源ボタンを約2秒間長押ししてください。

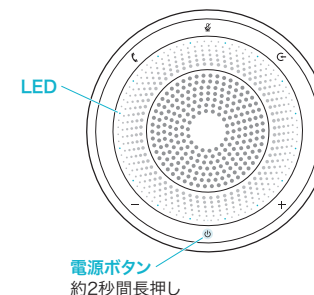
ピープ音が鳴り、LEDが点灯後、消灯します。

■ 電源をOFFにする

電源がONの状態で電源ボタンを約2秒間長押ししてください。

ピープ音が鳴り、LEDが点灯後、消灯します。

電源ON・OFF時の
LED点灯の様子が
動画で確認できます。



電源ボタン
約2秒間長押し

10 接続方法

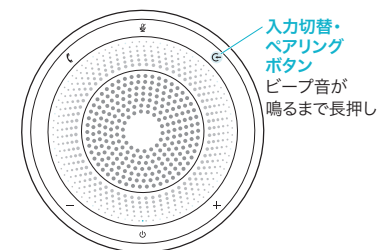
■ Bluetoothモードで接続をする場合

※接続方法により、基本音量が変わる場合があります。

本製品をお手持ちのスマートフォンなどBluetooth機器で使用するためには、お手持ちの機器とペアリングを行う必要があります。

(例)スマートフォンとの接続方法 ※詳しくは接続機器の説明書をご覧ください。

- ①本製品を電源ONにして、入力切替・ペアリングボタンをピープ音が鳴るまで長押しします。



入力切替・
ペアリング
ボタン
ピープ音が
鳴るまで長押し

10 接続方法(続き)

② スマートフォンのBluetoothを「ON」にして「400-BTMSP1」を選択してください。

iOSの場合

(1) [設定] → [Bluetooth] を選択してください。



(2) 「Bluetooth」をONにし、「400-BTMSP1」を選択してください。

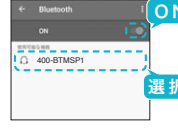


Androidの場合

(1) [設定] → [Bluetooth] を選択してください。



(2) 「Bluetooth」をONにし、「400-BTMSP1」を選択してください。



※パスキーを要求された場合は下記を入力してください。

デバイス名	400-BTMSP1
パスキー	0000(ゼロ4つ)

※操作画面は参考です。
ご使用のスマートフォンのOS、機種により画面は異なります。

❗ 本製品をペアリングモード後、ペアリングをしない状態がしばらく続くとピー音が鳴ってペアリングモードが終了します。その場合、❶から作業をやり直してください。

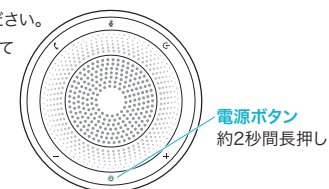
③ ピープ音が鳴り、電源LEDが青色点灯して本製品とスマートフォンとの接続が完了します。

■ USBモードで接続をする場合

※接続方法により、基本音量が変わる場合があります。

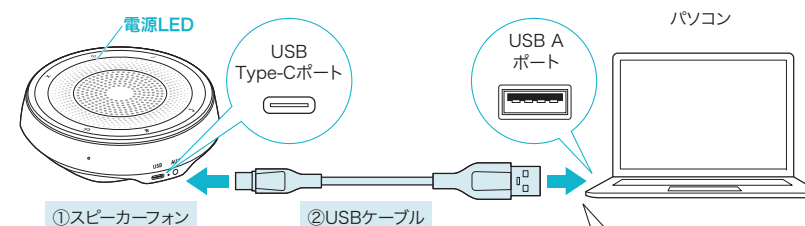
① パソコンの電源を入れ、OSを完全に起動させてください。

② スピーカーフォンの電源ボタンを約2秒間長押しして電源をONにしてください。



③ スピーカーフォンとパソコンを付属のUSBケーブルで接続してください。

④ 自動的にドライバーがインストールされ、ピー音が鳴り、電源LEDが緑色点灯して本製品を使用できます。



サウンドカードやドライバーは不要の簡単接続です。

❗ USB接続をした場合は「11.パソコンの設定」で設定を行ってください。

10 接続方法(続き)

■ AUXモードで接続をする場合

※接続方法により、基本音量が変わる場合があります。

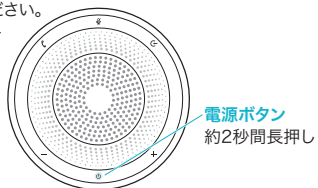
Bluetooth接続による音声の途切れが不安な場合や接続機器側のUSBポートに空きがない場合、付属のオーディオケーブルを使用して機器と接続することができます。

(例)タブレットとの接続方法

※詳しくは接続機器の説明書をご覧ください。

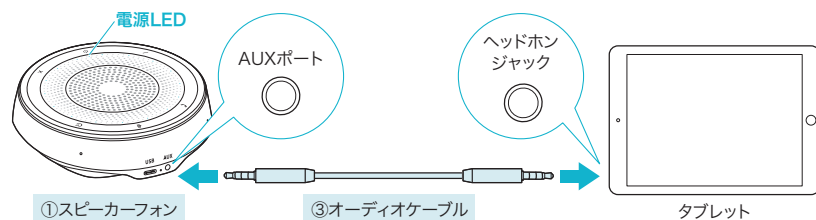
①タブレットの電源を入れ、OSを完全に起動させてください。

②スピーカーフォンの電源ボタンを約2秒間長押しして電源をONにしてください。



③スピーカーフォンとタブレットを付属のオーディオケーブルで接続してください。

④自動的にドライバーがインストールされ、ピープ音が鳴り、電源LEDがピンク色点灯して本製品を使用できます。



11 パソコンの設定

USB接続をした際は下記の通りパソコンの設定を行ってください。



- アプリケーションを作動中にコネクタを差し替えたり、設定を変えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再起動してください。
- 使用するアプリケーションによっては、アプリケーション側で「オーディオデバイスの設定」をする必要があります。

■ Windows 10・8.1・8の場合


※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

①カーソルを画面の左下隅に動かして右クリックし、メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。または、「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windowsシステムツール」を選択し、「コントロールパネル」の中の「ハードウェアとサウンド」をクリックします。

②「サウンド」をクリックします。

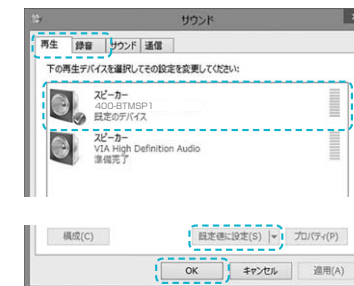
③[再生]と[録音]タブの中のリストからそれぞれ「400-BTMSP1」を選択し、[既定値に設定(S)]をクリックします。

選択したサウンドデバイスに  が付きます。

※既に  がついている場合もあります。

※この時、右下の[プロパティ]をクリックし、それぞれの[レベル]タブを開いて、レベルが0になってないかも確認してください。

④「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了します。



11 パソコンの設定(続き)

■ Windows 7の場合

※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

- ① [スタート]ボタンから[コントロールパネル]をクリックします。
- ② 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「サウンド」をクリックします。



- ③ [再生]と[録音]タブの中のリストからそれぞれ「400-BTMSP1」を選択し、[既定値に設定(S)]をクリックします。

選択したサウンドデバイスに✓が付きます。
 ※既に✓がついている場合もあります。
 ※この時、右下の[プロパティ]をクリックし、それぞれの[レベル]タブを開いて、レベルが0になってないかも確認してください。

- ④ 「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了します。



■ Mac OSの場合

※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

- ① アップルメニューから[システム環境設定]をクリックします。



- ② 「サウンド」をクリックします。



- ③ [出力]と[入力]のリストの中から、それぞれ「400-BTMSP1」を選択します。
 ※この時、それぞれの音量調整と「消音」にチェックが入っていないかも確認してください。

- ④ 左上の [] をクリックし、サウンドのプロパティを終了します。



12 操作方法

■ 基本操作

モード切替え ※複数のモードが使える状態にしておかないと使えません。

**入力切替・
ペアリングボタン**
1回タッチする

電源LED
・Bluetoothモード→青色点灯
・USBモード→緑色点灯
・AUXモード→ピンク色点灯

音量調節

LED
青色点灯
※音量の大きさによって
光る範囲が広がる
※最小・最大音量で
ピープ音あり

音量ダウンボタン
音量を下げる/1回タッチする

音量アップボタン
音量を上げる/1回タッチする

電池残量確認

LED
緑色点灯
・残量100%→全点灯
・残量 75%→7割点灯
・残量 50%→5割点灯
・残量 25%→2割点灯

Siri・Google アシスタント起動

受話器ボタン
2回タッチする

初期設定

リセットボタン
1回押す
※ピンなどの細い
突起物で押します。

電源ボタン
1回タッチする

■ 通話操作

着信に出る/ 通話を切る

受話器ボタン
1回タッチする

LED
通話中/音声のする方向に
緑色点灯

電源LED
通話中/青色点灯

着信拒否

受話器ボタン
着信中に約3秒間
長押しする

マイクミュート

ミュートボタン
通話中に
1回タッチする

LED
赤色点灯


13 各種操作方法・LED点灯一覧

	動作・状態	操作方法	電源LED	LED
基本操作	電源ON	電源OFFの状態です電源ボタンを約2秒間長押し	青色点滅(未接続時)	時計まわりに光って消灯
	電源OFF	電源ONの状態です電源ボタンを約2秒間長押し	消灯	反時計まわりに光って消灯
	ペアリングモード	入力切替・ペアリングボタンを ピープ音が鳴るまで長押し	青色に早く点滅	—
	ペアリング成功	—	青色点灯	—
	機器未接続	—	約4秒に1回青色点滅	—
	充電中	—	オレンジ色にゆっくり点滅	—
	充電完了	—	消灯	—
	電池残量低下	—	—	赤色点滅
	電池残量確認	電源ボタンを1回タッチする	—	緑色点灯 ※2
	音量調節	音量アップボタン、音量ダウンボタンで調節	—	青色点灯
	Siri・Google起動	受話器ボタンを2回タッチする	—	—
	モードの切替え	入力切替・ペアリングボタンを1回タッチする ※1	点灯(モードにより色は変化)	—
	初期化	リセットボタンを1回押す	—	—
	電話に出る	着信中に受話器ボタンを押す	—	音声のする方向に緑色点灯
通話操作	電話を切る	通話中に受話器ボタンを押す	—	—
	着信拒否	着信中に受話器ボタンを約3秒間長押し	—	—
	マイクミュート	通話中にミュートボタンを押す	—	赤色点灯

※着信中は外周LEDが青色に早い点滅をします。 ※メディアの再生時の操作は接続した機器側で行ってください。

※1:複数のモードが使える状態にしておかないと使えません。 ※2:残量により変化(12.操作方法参照)

14 【例】Skypeの設定(Windows)

- 1 Skypeのメイン画面で  (その他)をクリックします。
- 2 「設定」をクリックします。
- 3 「🔊 音声/ビデオ」を開いて「マイク」の右のデバイスリスト(プルダウン)から「400-BTMSP1」を選択し、「マイク設定を自動調整」をONにしてください。
- 4 「スピーカー」の右のデバイスリスト(プルダウン)から「400-BTMSP1」を選択します。

これでSkypeの設定は完了です。



※Skypeのバージョンによっては下記になります

- 1 Skypeのメイン画面で、[ツール]メニューから[設定]をクリックします。
- 2 [オーディオ設定]をクリックします。
- 3 Skypeで使用するマイクとスピーカーを本製品にするために、
(1)「マイク」から「400-BTMSP1」を選択し、「音量設定の自動調整を有効化」にチェックを入れます。
(2)「スピーカー」から「400-BTMSP1」を選択します。
- 4 Skypeの呼び出し音(着信音)を設定します。
・呼び出し音(着信音)を本製品から鳴らす場合
「呼び出し中」から「400-BTMSP1」を選択します。
・呼び出し音(着信音)をパソコンのスピーカーから鳴らす場合
「呼び出し中」からパソコン本体のスピーカーを選択します。
- 5 [保存]をクリックします。

これでSkypeの設定は完了です。

15 トラブルシューティング

Q) USBハブに 接続できますか？

A) 本製品を接続する際にはパソコン本体のUSBポートに直接接続するか、ACアダプタ付きのUSBハブ(セルフパワードハブ)に接続してください。キーボードや液晶モニターのUSBポートでは使用できない場合があります。

Q) 本製品を接続しているのに本製品から 音が出ずに「パソコン本体のスピーカー」 から音が出る。 または、音声入力ができない。

A) パソコンの設定で優先されるスピーカーに「パソコン本体のスピーカー」が設定され、マイクについても別の機器が設定されています。「11.パソコンの設定」を参考に本製品を優先するように設定変更してください。

Q) 本製品を接続したまま パソコンのスピーカーで 音楽を聴こうとすると 本製品から音が出る。

A) 「11.パソコンの設定」を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定してください。
または、本製品をパソコンから抜いてください。自動的に切り替わります。
※アプリケーションを作動中にコネクタを差し替えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再起動してください。

Q) Skype通話の音声は本製品から、 音楽はパソコン本体の スピーカーから再生させたい。

A) 「11.パソコンの設定」を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定します。
また、Skypeの「ツール」→「設定」→「オーディオ設定」→「スピーカー」を「400-BTMSP1」に設定します。

Q) Skype通話時に、 マイクの音量が小さい。

A) Skypeの「ツール」→「設定」→「オーディオ設定」の「☐ マイク設定を自動調整」のチェックを外して音量を調整してください。

Q) 環境ノイズが入る。

A) 相手にこちらの環境ノイズが聞こえる場合は、本製品を雑音源(パソコンやプロジェクターの放熱ファン、クーラーの下)から離して設置してください。